

夏休み課題について 国語科 (1・2・3年共通)

- 必修課題と自由課題がある
- 提出日 8月30日(月)
- 提出先 必修課題→国語係(名簿にチェックをする)→各学年国語科担当
自由課題→作文は「井出」、書写作品は「牧田」まで、直接持ってくる。

必修課題(全員が提出する)

- ① 漢字・語句ノート 各学年の目標ページ数を書いて提出
- ② 読書感想文コンクール ※別ページに説明があります。

自由課題(提出できる生徒が取り組む)

- ※ 作品は未発表のものをお願いします。
- ※ 他人の作品を自分の名前を出さないでください。

① 文集「だんらん」作文・詩

《趣旨》「家庭」は家族の憩いの場であり、子どもが健やかに育つためにもっとも大切な場所です。そのため埼玉県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として普及活動が進められています。

《課題》家庭を題材とした作文か詩を書く。(両方書いても良い)

《用紙》 どちらも原稿用紙を用意し、
作文は右端に「題名」「学年」「氏名」を記入し、540字以内とする。
詩は、右端に「学年」「氏名」を記入する。

② 第12回 新聞感想文コンクール

《課題図書》新聞を読んで興味を持った記事を切り抜き、感想を書く

《用紙》 400字詰原稿用紙 1枚～3枚

※上記の質問は井出まで

○JA共済小・中学生書道コンクール

- 1年「伝統の継承」(条幅)「豊年満作」(半紙)
- 2年「柔軟な発想」(条幅)「地域連携」(半紙)
- 3年「壮麗な自然」(条幅)「初志貫徹」(半紙)
- (1) サイズ: 半紙(タテ約33cm×ヨコ約24cm) 条幅:(タテ約136cm×ヨコ約35cm)
- (2) 書体: 楷書または行書
- (3) 学年・氏名の記入方法 学年・名前のみで学年名は書かない。
- (4) 提出方法

作品に「添付用名札」(夏休みのしおりに添付)に必要な事項を書いて左下にのり付けをして「牧田」まで直接持ってくること。

※上記の質問は牧田まで

読書感想文の応募について

第67回青少年読書感想文全国コンクール

◇読書感想文の対象図書の類別

- ①自由読書、②課題図書の2つの類別になります。
- 読書感想文は 全員提出 です。
- 読書をして、心を豊かにしましょう。
- また、作文力もつけましょう。

◇提出された作品の中から、学級1点の優れた作品を入選とします。

入選作品の中から特選を選び、学校代表作品として熊谷市のコンクールに出品されます。さらに、その中から埼玉県のコンクールに出品されます。

◇作品は2000字以内です。(原稿用紙3～5枚)

原稿用紙は、夏休み前に、全生徒に配布します。

◇提出日は8月30日(月)です。

提出日に、国語係がクラスの商品を集め、クラス名簿に提出者をチェックした上で、担任の先生に提出して下さい。

◇今年度の課題図書は以下の3冊です。

with you	くもん出版	1,430円
アーニャは、きつと来る	評論社	1,540円
牧野富太郎 日本植物学の父	汐文社	1,760円

※ 図書館に、3冊用意しましたので、活用してください。

夏休みの課題：【全学年共通】

中学生の「税についての作文」

- 1 テーマ 税に関する事なら何でもOK。税のしくみや使われ方について見聞きしたこと・考えたこと、学校で学んだり家族で話をしたり、体験したりしたことなど。
- 2 文字数 学校で配布された、「税についての作文」専用の原稿用紙（400字詰め）3枚以内
- 3 注意点 作文のはじめに、「所属の学校名」・「学年」・「氏名（ふりがな）」・「性別」・「題名」を書く
⇒（埼玉県熊谷市立熊谷東中学校）
- 4 締切 **8月30日（月）**

▼ 参考① [内閣総理大臣賞：札幌市立厚別南中学校2年 平井 菜花]

「税金で持続可能な社会へ」

「震災復興を風化させてはいけない。」

先日、歌手のさだまさしさんのコンサートへ出掛けたときに聞いたメッセージだ。さださんは更に「被災した方々のために自分ができることは、歌でみんなを元気づけること。」と言っていた。八月には東北でチャリティーコンサートを開く予定だという。

先ほどのさださんの言葉で、一つの問いが私の心の中に浮かんだ。それは、「震災が起きてから、自分は何か行動できただろうか」ということだ。振り返ると、震災が起きた年は募金活動に協力したが、その後は何もできていなかったのではないかと。そんな自問自答から、「支え続ける」ことの難しさや大切さに改めて気がついたのだった。「ずっと続けられる復興支援って何だろう。」と母に尋ねたところ、「お給料の中から復興特別税を納めているよ。」と教えてくれた。「復興特別税」初めて耳にする税金の名前だった。

復興特別税とは、被災地の復興のために使うことを目的とした税金で、法人税、所得税、住民税の三種類がある。復興特別税は、仮設住宅の建設、がれきなどの処理や学校の復旧に使われるそうだ。中でも復興特別所得税は、平成二十五年から平成四十九年までの二十五間に渡って納める税金である。

東日本大震災から四年が経過した。もうかなり復興が進んでいるはずだ。そう思って調べてみた。すると、道路や施設、交通などのハード面の復旧は九割以上進んだ一方で、仮設住宅で暮らす人は未だ十万人以上、復興住宅はわずか2%しか完成していないという現状に、目を疑った。震災から四年経ってなお、不安を抱えたまま暮らしている人々が大勢いるというのだ。にもかかわらず、震災復興についてメディアで取り上げられる機会もめっきり減り、私自身も忘れかけていたことに気づき、愕然とした。そして、復興特別税の二十五年間という徴収期間は、一度壊れた町全体が元の姿に戻るまで支え続けることを教えてくれているような気がした。

「何かしたい。」と強く思っても、人の思いはときに薄れたり、遠ざかってしまったりしてしまう。だからこそ、「税金」という支援が必要だと強く感じた。「税金」は持続性のある確かな財源であり、復興のための揺るぎのない土台になっているからである。

税金の使い道は幅広く、今までもこれからも社会の基盤を支えていくものだ。今回、私が「復興特別税」のことを知り、税金の意義を実感したように、私達若い世代は、税の使い道について正しい理解をもつことが必要不可欠だと思う。一人一人がしっかりと教育を受け、様々な経験を経て、主体的に行動できる人間に成長すれば、やがて大人になったときに、納税を通して互いに支え合うという循環が持続するのではないだろうか。そんな未来予想図を胸に、これからは東北の復興に関心を寄せながら生活していこうと思う。

▼ 参考② [文部科学大臣奨励賞：大阪市立淀中学校3年 渡辺 真実]

「税金と責任」

私は今回「税の作文」を書くにあたり、税のことをもっと詳しく知りたくて国税庁のホームページを訪問しました。すると、一番最初に飛び込んできたものは「国税電子申告・納税システム（e-Tax）」という言葉でした。自宅からでもインターネット回線を通じて税金の申告や納付ができる仕組みであると知り、便利なものだと感じましたが、それ以上に気になったのは「Tax」という英単語でした。というのも、私はよく両親と商店街などに行くのですが、街を歩くと「TaxFree」「DutyFree」と書かれた看板や表示がたくさん目につきます。両親に聞くと、TaxもDutyも同じ税という意味で、TaxFreeと書いてあるのは「免税店」で外国からの観光客がここで買い物をしても税金がかからないんだ、という風に教えてもらいました。その時はあまり深くその意味について考えませんでした。今回e-Taxという言葉を知り、国税庁のホームページなどインターネットでより深く調べていくと、あることを知りました。それは、DutyとTaxは同じ「税」という言葉であっても、その意味は大きく異なるということです。

辞書やサイトなどで調べると、Taxはもちろん「税」という意味ですが、そのほかにも「負荷」「重荷」という意味があるようです。それに対してDutyには税のほかに「責任」「義務」という意味があります。負荷や重荷というと誰かに背負われるものと強く感じますが、責任や義務は自分から背負い果たすものという感じで、それぞれの意味は大きく違うと思いました。また学校でも教わったのですが、大昔の租・庸・調や江戸の年貢、災害やお米の不作、過酷な労働、一揆など、昔の税は重く辛いものというイメージが強いので、昔の税や年貢はTaxの意味に近いと思いました。でも現在では税はお金に変わり、その基準も農産物など不安定なものから、土地や財産、収入などを基準にみんなが公平に税を負担する制度とすることで、税は重荷ではなく、みんなが公平に税金を納める義務と責任を負うものという意味で、現代の税はむしろDutyの意味に近くなったのではないかと考えました。

さらに調べると、Taxは食品や洗剤など消費されてなくなるものにかかる消費税、Dutyは機械など消費されない輸出入品にかかる関税、という風に大きく分けることもできるとわかりました。そして、それ以上に税という言葉が日本でも海外でも重要な意味を持っていることや、税の歴史を感じることができたのはとても貴重な発見でした。

税は医療や福祉、行政など私たちの社会で広く公平に使われ、私たちはそのおかげで便利な生活を送ることができています。Dutyが持つ意味の通り、税をきちんと納める責任と義務を果たす大人になっていきたいと思っています。

調べてみよう

国税庁HP 「税の学習コーナー」発展編（中学生向け）

<https://www.nta.go.jp/index.htm>

財務省キッズコーナー ふあいなんすランド

<https://www.mof.go.jp/kids/2018/>



理科自由研究について

テーマを決め、予想を立てて実験しよう！

形式：A4 レポート用紙（ノート可）、科学展目指す人は電子データで作成推奨

提出日：8/30（月） 放課後 第2理科室 （作品には学年学級名前を書いてね）

※下の出品表を切り取り、理科室の箱に入れる。（貼り付けしないでください）

よくあるテーマ例（同じようなテーマはありふれていますので、マネしないほうがいいです。）

音の余韻の謎	大シボソ玉作りの研究	発生条件（カビ）
寒天を使った電気分解	目の錯覚、耳の錯覚	レモンでオルゴールを鳴らす
鉄釘を使ったさびの研究	地球温暖化	リンゴの変色
野菜で汚れを落とす実験	植物が吸い上げる水の量	水性ペンの色素を調べる

お薦め・オリジナル BTB 溶液の発明・シダ植物の育成～前葉体の観察～・藍エキスの効用

○理科室の道具を使いたい場合

- 1 各学年の理科担当の先生に相談し、7月16日までに実験器具使用願い提出してください。
- 2 **事前に**実験計画を教えてください。何時、何を、何個必要か。使用目的を明確にする。
- 3 破損してしまった場合、弁償していただきます。返却日は8月30日です。

-----切り取り-----

理科自由研究出品表	年 組 番 名 前
題目「 」	
共同研究者（小学生の兄弟含む） 年 組	
分野（○をつけてください）化学 ・ 物理 ・ 植物 ・ 動物 ・ 地学 ・ 一般	
最終チェック <input type="checkbox"/> 出品表は貼らない <input type="checkbox"/> 作品に名前が書いてある <input type="checkbox"/> 参考文献が書いてある <input type="checkbox"/> 商品名が作品の中に入っていない（スポーツ飲料 A などの表記なら OK）	

理科実験器具借用願	年 組 番 名前
題目「 _____ 」	
共同研究者 (小学生の兄弟含む) 年 組	
分野 (〇をつけてください) 化学 ・ 物理 ・ 植物 ・ 動物 ・ 地学 ・ 一般	
<p>最終チェック</p> <p><input type="checkbox"/> 出品表は貼らない <input type="checkbox"/> 作品に名前が書いてある <input type="checkbox"/> 参考文献が書いてある</p> <p><input type="checkbox"/> 商品名が作品の中に入っていない (スポーツ飲料 A などの表記なら OK)</p>	
<p>借用物品 (何を何個必要か) すべてが借用できるとは限りません</p> <p>① _____</p> <p>② _____</p> <p>③ _____</p> <p>④ _____</p> <p>⑤ _____</p> <p>⑥ _____</p> <p>⑦ _____</p>	
<p>返却予定日</p> <p>令和 3 年 月 日に返却いたします。</p> <p>破損した場合には、弁償することを保護者に了承を取っております。</p> <p>保護者 (直筆) 氏名 _____ 印 _____</p>	

技術・家庭 夏休み課題について

令和3年7月

- ◎技術・家庭か理科のどちらかを提出する。技術でも家庭の内容でもどちらでもよい。
- ◎生活の中でこんなものがあれば便利と思うものを作品にしよう。製作でも研究でもどちらでもよい。
- ◎「児童生徒発明創意くふう展」への出品ができるように創意くふうのある作品にして下さい。
大里地区児童生徒発明創意くふう展では県展出品作品が選ばれます。県展では多くの作品の中から「県知事賞」などの入賞作品が決まります。研究発表も地区展→県発表があります。
- ◎作品提出日 8月30日(月) 帰りの会后自分で作品を運ぶ。出品表を必ず付ける。

【提出先】 家庭→被服室 技術→木工室

毎日の生活をよりよくする創意くふうにあふれた作品を作ろう!

製作部門—創意工夫がある作品に仕上げましょう。

技術	・木材、金属、プラスチック、電気や使わなくなった物などで作ってみよう。
分野	入賞作品例「省エネうちわ」「扇風機フラップ」「ブックストッパー」
家庭	・布、使わなくなった物などを利用して作ってみよう。
分野	県展入賞作品例「シューズも脱水・乾燥・短縮」「点字ソーイングセット」

研究部門—「創意くふう展」には研究発表会があります。創意くふう展開催時に発表会が行われます。

※研究内容は技術分野・家庭分野どちらでもよい。

<ul style="list-style-type: none"> ・作品製作の行程をわかりやすく写真や図で説明する。 ・観察や記録をとり、表や図で説明し考察する。 ・取り組み前と取り組み後について比較検討しまとめ、考察する。 <p>○模造紙にまとめること。写真や図、表、グラフなどを活用するとよい。</p> <p>過去大里地区展出品作品例「エコ名人になろう！家庭の消費電力比較」</p> <p style="text-align: center;">「いろいろな野菜で納豆を作ってみよう」「介護ベッドカバーの製作について」</p> <p>過去県展出品作品例「里芋の吹きこぼれを防ぐには」「赤ちゃんが喜ぶアイデアデスク」</p>

----- 切り取って作品に貼る 取れないように貼ること -----

出品表

作品名		
学校名		
学年・氏名	年 組	番
考案・動機		
特徴考案の動機		
使用法と効果		
備考 (費用)		

技術科 夏休み課題について

技術の2学年課題は以下の2つです。

- ・栽培計画 (プリントB-06)
- ・栽培記録 (プリントB-07)

○課題内容

- ・栽培計画 (プリントB-06)

「栽培計画」は、計画部分のみ授業で記入しました。事前にたてた計画と実際に行った作業を記入し提出してください。

- ・栽培記録 (プリントB-07)

「栽培記録」は作物の様子、気づいたこと、行った作業、感じたこと、思ったことを記入し、作業したときや思い出の場面、元気に育っているバジルの写真などを貼り付け提出してください。摘心・収穫の様子を必ず入れてください。写真を貼る欄には、成長の様子や摘心した部分、実際に調理した料理の写真を貼ってください。アレルギーに注意して自分で食べた感想を書き、食べてもらった感想を家族などの誰かに書いてもらってください。

○提出方法

栽培計画と栽培記録を別々に集め、國本先生まで提出してください。家で印刷ができないなどのトラブルは國本先生に早めに相談してください。夏休み中でも、國本先生は学校にいます。

提出日: 8/30 ※夏休み明け最初の登校日

令和3年美術科夏休みの課題一覧

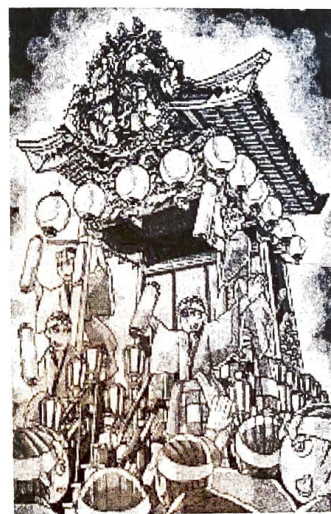
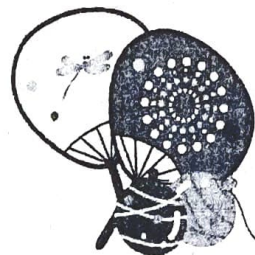
【全校課題・対象：全校生徒】

課題	教科	提出日	提出先	提出方法等	済
ラグビーポスター	美術	8/30	吉田先生	7/16までに提出が出来なかった人対称美術係が集め、名簿順に揃えて提出	

【自由課題・対象：全校生徒】

課題	教科	提出日	提出先	提出方法等	済
だんらん「絵」	美術	8/30	吉田先生	個人で吉田先生へ提出	
私たちの自然を守ろう コンクール	美術	8/30	吉田先生	四つ切又はB3画用紙「私たちの自然を守ろう」の言葉を入れる	
土砂災害防止について	美術	8/30	吉田先生	サイズ自由 個人で吉田先生へ提出	
We love トンボ絵画 コンクール	美術	8/30	吉田先生	四つ切又はA3画用紙 縦書き トンボのいる風景 希望者は応募用紙に記入(吉田まで) 個人で吉田先生へ提出	
1129 トンボデザイン コンクール	美術	8/30	吉田先生	「デザイン」「アイデア」「プリント」 部門 希望者は吉田まで応募用紙を取りに来て てください。 個人で吉田先生へ提出	
第10回キャラクター イラストコンテスト	美術	8/30	吉田先生	A4 サイズの完成イラスト テーマ(ヒーロー) 個人で吉田先生へ提出	
JQA地球環境世界児童 画コンテスト	美術	8/30	吉田先生	四つ切画用紙、画材は自由(切り絵、フ ェルト等不可) 個人で吉田先生へ提出	
第54回「受信環境ク リーン図案コンク ール」	美術	8/30	吉田先生	四つ切サイズ 縦長 詳しい要項は吉田まで来てください	
第61回「下水道の 日」作品コンクール	美術	8/30	吉田先生	B4判～A2判以内 「9月10日下水道の日」の文字を入れる	
令和3年度3R促進ポ スターコンクール	美術	8/30	吉田先生	サイズ四つ切又はB3版 循環型社会構築に向けて3R(リディー ス・廃棄物の発生抑制、リユース・再 使用、リサイクル・再生利用)	

第43回「埼玉の建築 産業」ポスター・ 絵画コンクール	美術	8/30	吉田先生	サイズ・四つ切り又は六つ切り 縦横 自由 画材は自由 詳しくは貼られているポスターを見て ください。	
令和3年度「家庭の 日」ポスターコンク ール	美術	8/30	吉田先生	・家族みんなで楽しく過ごしている ところ(食事・スポーツ・お出かけ等) ・図画・・・B4B3A3又は四つ切。画材 は自由	
令和3年愛鳥週間用ポ スター原画募集	美術	8/30	吉田先生	B3又は四つ切 縦書き 表現は自由 漢字で(愛鳥週間)の4文字のみ記入 (Bird Week) (バードウィーク)は可	



夏